



🌱 目次

生産現場情報	人の輪と地域の輪でおいしさづくり～農事法人組合なかむら～	P 1～3
営農支援情報	令和4年産大豆の収穫から選別・調製に向けて	P 4～5
ご 紹 介	①「かつの北限の桃」出荷開始～秋田県知事へ報告	P 6
	②JA秋田ふるさと「りんご出発式」が行われました	P 7
	③フラワーモニュメントで花きの魅力をPR～グランドオープンを迎えた 「あきた芸術劇場ミルハス」に展示	P 8
	④「サキホコレ」現地講習会を開催	P 9
	⑤みのりみのるマルシェ「秋田おばこの実り」 in 銀座三越	P10
お知らせ	京急あきたフェア2022	P11

人の輪と地域の輪でおいしさづくり～農事法人組合なかむら～

平成9年度より、法人の前進となる中村ライスセンター利用組合が設立され、10年にわたり近隣水稻農家に活用されました。しかし、当時集落内では農家の高齢化と後継者不足が深刻で、今後の地域農業の継続はもとより、集落社会の存続に不安を抱えていて、低米価に対応できる稲作りが今後もできるのか協議を重ね、平成18年8月に法人組織を立ち上げました。

設立：平成18年8月28日

代表：代表理事 金持善雄

構成員：13戸（令和4年現在）

所在地：大仙市協和中淀川中村前田表125

<経営理念>

- ・人の輪と地域の輪を大切に、住民が豊かに暮らせる地域づくりに貢献する
- ・組合員は心ひとつに楽しく農作業に勤しみ、一人一役に徹して地域の農地と農業を守る
- ・地域農業の担い手としてその社会的役割を果たす



なかむらの従業員のみなさん

（令和4年4月1日時点）

栽培作目：水稻38ha、枝豆1.2ha、ねぎ0.6ha、トウモロコシ0.6ha、ぶどう0.2ha、キャベツ・白菜0.2ha、花卉・ハウス野菜0.3ha

【経営の特徴】

法人設立時、生産調整が避けて通れないのであれば、法人として積極かつ戦略的（設備投資は助成金頼みの大豆よりも野菜の方が中長期的に安定経営につながる）に園芸作物に取り組むこととしました。枝豆やトウモロコシ、キャベツ等を選定したのは、野菜の中で比較的土地利用型の作目であって転作面積消化ができることと、栽培経験のある作物であること、そして販売の安定性を優先し契約栽培できる品目としてJAと協議のうえで取り入れました。

また、ハウス10棟を利用して花卉や、冬期間の収益確保のためホウレン草、小松菜、つぼみ菜、契約野菜苗を栽培し全量直売しています。



【新たな取り組み】

生産した農産物はJAへの出荷をはじめ店頭直売をしていましたが、それらに加え今年度から秋田市内のスーパー3店舗で朝採りトウモロコシの販売を始めました。消費者からの評判も良く店頭に出すとすぐに完売するといった状態でした。他のスーパーからの要望も多く面積拡大を考えています。

当法人の特徴として、品目ごとに担当を決め、その担当者が栽培計画から資材の購入、販売先の選定まで責任をもって担当しています。金持代表は「すべての面でサポートしているが、若い従業員が成長し、ほとんど任せています。頼もしいです。」と話していました。毎年12月には、実績検討会を行い、収支・成果・改善点を出し合い次年度の営農計画に活かしています。

また、平成29年度からJA全農あきたがすすめる大口利用農家への肥料・農薬の直行配送を県内でもいち早く導入し、トータルコストの低減を図っています。



代表理事：金持善雄さん

なかむらの屋台骨、隅々まで目が行き届き目を光らせている。稲、野菜、花卉、果樹まで何でもオールマイティーに精通しています。



専務理事：上釜翔太さん

露地野菜部門担当

なかむらにきて10年、金持さんの元で勉強と実践を積み重ね、農業未経験者からこの4月に専務理事に就任しました。



小田嶋美優貴さん

花卉・葉物野菜担当

花卉（トルコギキョウ・葉ボタン）・葉物野菜などの施設野菜を担当。夏から秋のトルコギキョウのシーズンには、ハウス4棟で約16,000本を栽培しています。

さらにハウスでの葉物野菜から野菜苗までオールシーズンの大活躍！



高橋颯太さん

水稲担当

令和4年4月に入社の新入さん。

まじめで無口、大型トラクターやコンバインなどの運転ができるよう大型特殊免許を取得しました。高校時代は短距離選手で活躍。



青山香織さん

果樹担当（主にぶどう）

農業がしたい。シャインマスカットを作りたい。農業機械のオペレーターもしたい。と県北から移住して令和4年4月に当法人に就職しました。前職は保育士さん。

【今後に向けて】

消費者へのPR、農産物の販売等を考え、平成27年に施設内に店頭直売所を設置しました。県南部から秋田市や秋田空港へ通じる道路沿いにあることから交通量も多く、新鮮な農産物を立ち寄って購入する人が多いです。特にブドウやトウモロコシなどは予約注文が多くほとんどがリピーターのお客さんです。

今年度からは待ちの販売ではなく、インターネットや、インスタグラムなどのSNSを活用して、積極的に消費者に情報を発信しています。シャインマスカットについては消費者の反応も早く予約注文が殺到し、予定数量をオーバーしています。しかし課題も多く、慢性的な労働力不足により作業の重複が発生しています。特に夏場の収穫作業が重なり、作付面積の構成変更を検討しています。また、機械の更新なども控え資金対応も課題となっています。

金持代表は、「経営の効率化（労働力・機械設備のキャパに合わせた経営面積）を目指していきたい。経営や事業は、現状維持では衰退の方向に向かう。一年に一步でも前に進む姿勢で取り組んでいる」と話してくれました。



令和4年産大豆の収穫から選別・調製に向けて

本年産大豆の生育は、7月以降、気温が高く推移し、開花期は地域により差はありますが、全県の開花盛期は7月30日で、平年より1日早くなっています。

秋田県農業試験場の大豆作況調査試験によると6月5日播種のリユウホウで、8月19日の生育は草丈105cm（平年比97%）と平年並～やや短く、主茎節数は15.3節（平年差-0.3節）と平年並～やや少なく、分枝数は4.6本（同+1.3本）と平年より多く、晩播の6月14日播種では草丈92cm（同92%）と短く、主茎節数は14.2節（同±0.0節）と平年並、分枝数は3.8本（同+0.7本）と平年より多かったようです。



1. 収 穫

収穫は、大豆の枯れ上がり程度、茎や子実の水分状態を見極めて計画的に行うことが重要です。また、コンバイン等の調整や試運転等は事前に済ませるようにしてください。

- ①大豆子実の外観品質は成熟期以降、徐々に低下するため、成熟期の早い圃場から収穫してください。
- ②汚染粒の発生を抑えるため、茎水分50%以下（茎がポキッと折れる頃を目安）で刈り取りを行い、作業は朝露により子実が湿った時間帯を避けてください。
- ③コンバインへの土の掻き込みは汚染粒発生の主な原因であるため、土を掻き込まない仮高にあらかじめ調整してください。

排水性の悪い圃場や滞水しやすい箇所は、コンバインの沈下に伴う土の掻き込みが予想されるため、事前に圃場の滞水程度を観察してください。圃場内の大型雑草や落葉の遅い株はあらかじめ抜き取ってください。

- ④脱穀後は風通しの良い場所に置いてください。

乾燥施設等の都合で刈り取り後、直ちに乾燥作業を行うことができない場合、保管場所や保管方法に配慮してください。

2. 乾 燥

乾燥前の子実の水分と乾燥条件により、しわ粒や裂皮粒等の被害粒が発生する場合がありますので注意してください。また、乾燥温度の目安は次の通りとし、送風温度は30℃以下で室内温度より15℃以上高くないように留意し、乾燥速度は0.4%/h以下とし、子実水分を15%に仕上げてください。

①子実水分を18%の場合（室温+15℃以下）

②子実水分を22%の場合（室温+8℃以下）

③子実水分を22%の場合（無加温⇒常温通風）

3. 選別・調製

仕上げ乾燥後、選別機で莢雑物や被害粒等を除去し、整粒歩合の高い高品質な大豆に仕上げてください。

粒径別に用いる篩い目は、大粒は7.9mm、中粒は7.3mm、極小粒は4.9mmを使用してください。

注) 記載内容等については、秋田県農林水産部発行「作況ニュース（第7号）」より抜粋掲載していますので、詳しくは「作況ニュース（第7号）」を参照してください。



「かづの北限の桃」出荷開始～秋田県知事へ報告

ＪＡかづのや同ＪＡ北限の桃生産部会、ＪＡ全農あきた、ミス・フレッシュ秋田ら関係者が９月５日、秋田県庁を訪れ、佐竹敬久秋田県知事に「かづの北限の桃」の出荷開始を報告しました。



今年は、８月に記録的大雨があり生育への影響が心配されましたが、生産者の適切な管理により生育は順調。ＪＡかづの北限の桃生産部会の中村喜作部会長は「雨の日が続き糖度不足を心配したが、今年も美味しい桃に仕上がった」と作柄を報告しました。ミス・フレッシュ秋田から「かづの北限の桃」を受け取った佐竹知事は「普段から出向いた先などで『かづの北限の桃』は美味しいとＰＲしている。どんどん宣伝するのでこれからも良いものを作っていただきたい」と話しました。



ミス・フレッシュ秋田（右）から佐竹知事へ「かづの北限の桃」を贈呈



ＪＡ全農あきたインターネットショップ「おらほの逸品館」でも「北限の桃（川中島白桃）」は大人気商品に定着！リピーターも多く今年も全国から注文が殺到しました。

ＪＡ秋田ふるさと「りんご出発式」が行われました

9月5日、ＪＡ秋田ふるさとでりんご出発式が行われ、生産者やＪＡ、ＪＡ全農あきたの関係者などが出席しました。



出発式ではミス・フレッシュ秋田からドライバーへ花束を贈呈し、秋田市の卸売市場へ出発するトラックを見送りました。ＪＡ秋田ふるさとりんご部会の部会長は「本日無事にりんご出発式を執り行え、程よい緊張感と清々しい気持ちである。まずは、雪害からの復旧・復興を第一に、おいしいりんごを作る産地をこれからも守っていききたい。そして、多くの消費者のもとにふるさとのりんごを届けたい」と強い決意を語りました。



フラワーモニュメントで花きの魅力をPR～グランドオープンを迎えた 「あきた芸術劇場ミルハス」に展示

あきた園芸戦略対策協議会（事務局：JA全農あきた）は、「あきた芸術劇場ミルハス」のグランドオープンにあわせ、秋田県産花きを使用したモニュメントを制作・展示しました。

このモニュメントは、9月23日～29日まで「あきた芸術劇場ミルハス」のメインエントランス奥の特設ブースに展示され、23日のグランドオープン当日には県内外から来場者約2,000人の目を楽しませました。



今回のモニュメント制作にあたっては、県内の生花店で組織する秋田県花卉小売商業協同組合青年部「花a c tあきた」と、県内花き関係団体を構成員とする「秋田県花きイノベーション推進協議会」の協力を得て実施。JA全農あきたと秋田県花卉小売商業協同組合のコラボレーションは今回で4回目です。バラやダリア、トルコギキョウなど約1,500本の花が飾られた直径150センチの球体モニュメントのテーマは「あきた花マル」。

秋田県産の花で永遠を象徴するマルを作ることで、「ミルハスが多くのから長く愛されるように」という思いが込められました。JA全農あきたの担当職員は「経済活動の盛り上がりと共に花きの需要も戻りつつある半面、生産現場の厳しさは物価高などもあり厳しい状況が続いている。この状況を乗り越えるべく、今後も業界一体となって県産花きの魅力を積極的にアピールしていきたい」と話しました。



「サキホコレ」現地講習会を開催

J A全農あきたは9月12日、今秋から本格的に市場デビューする「サキホコレ」の現地検討会をJ A秋田おばこ管内の圃場で開催し、栽培推奨地域の各J Aサキホコレ研究会および特別栽培米生産者、稲作営農指導員など42名が参加しました。



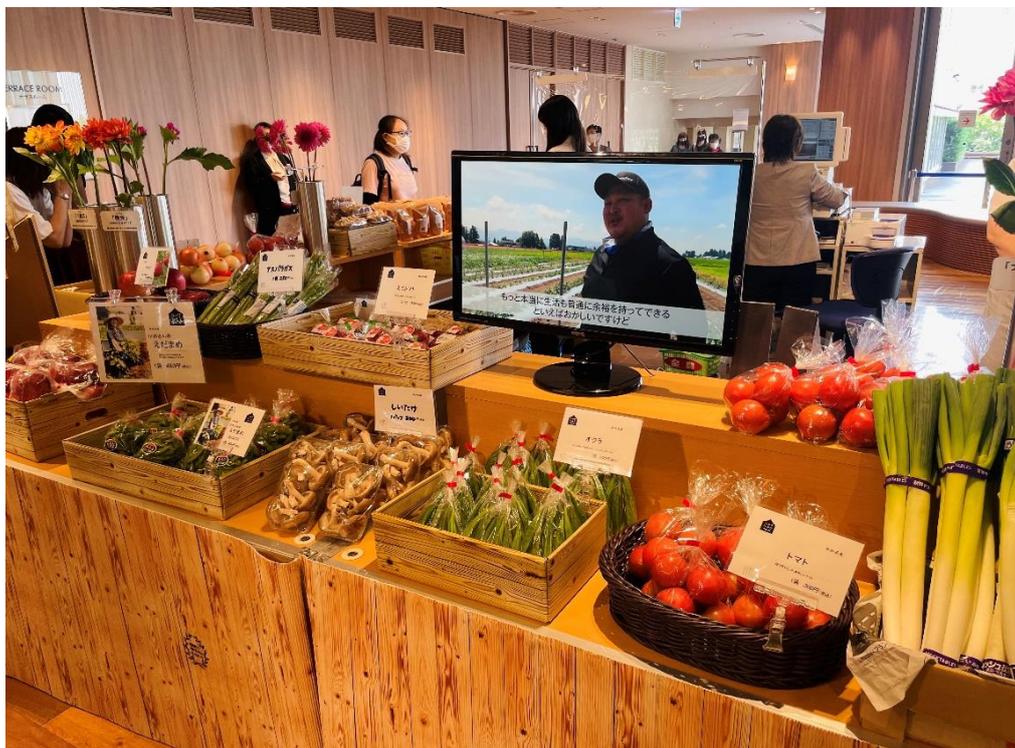
J Aグループ秋田では、特別栽培米等の生産に取り組み、その栽培基準や品質・出荷基準について独自基準を設定しており、さらなる高品質・良食味米の生産・販売を目指して、令和2年から現地試験を実施し、今年で3年目となります。

今年の稲の生育は、6月上・中旬の低温と日照不足により、茎数が少なく、葉色が濃く経過しました。また、8月は大雨と極度の日照不足により、「サキホコレ」の出穂は昨年と比較して7日遅く、登熟が緩慢になっています。参加した生産者や営農指導員は、適期刈り取りに向けて熱心に聞き入っていました。いよいよ「サキホコレ」も刈り取りの時期を迎え、収穫作業は10月5日頃にピークを迎えます！



みのりみのるマルシェ「秋田おばこの実り」 i n 銀座三越

J A全農とJ A秋田おばこは9月17日、東京都の銀座三越で、みのりみのるマルシェ「秋田おばこの実り」を開催しました。



みのりみのるマルシェは、地域の農畜産物や魅力、生産者の声を紹介するフリーペーパー「AGRI FUTURE」で紹介された地域の旬の食材や生産者の思い、受け継がれた文化などをTACや生産者が消費者に直接紹介する催しです。「AGRI FUTURE」では、J A秋田おばこ管内の生産者や地域の文化・歴史が紹介され、みのりみのるマルシェ「秋田おばこの実り」では、同J A管内で栽培された「ダリア」を展示したほか、「あきたこまち」の精米や「えだまめ」「りんご」「しいたけ」「ねぎ」「アスパラガス」などの青果物、「いぶりがっこ」「はちみつ」などの特産品を販売しました。また、マルシェ会場に併設する「みのりカフェ」と「みのる食堂」では、マルシェで販売した食材を使った限定メニューが提供されました。



枝豆「あきたほのか」は好評で、完売しました！



J A秋田おばこ産のたまねぎを使用した「おにょん味噌」



「みのりカフェ」で好評だった、J A秋田おばこ産「アスパラガス」を使用したサンドイッチ

あんしんを筑ばたく力に——京急グループ

京急あきたフェア 2022

10月10日(月)～11月6日(日)

秋田の
美味しいお米を
ご賞味あれ!

秋田県産あきたこまち「あきたecoらいす」はじめ、京急沿線7秋田の“おいしい”を楽しもう!

あきたecoらいす専用 オリジナルお弁当

10月10日(月)-11月6日(日)発売スタート!

いかりつとことんずのあきたこまち 電子と醤油の味噌味噌あきたこまち 税込1300円

鳥皮 鶏の唐揚げ 税込640円

旨のあきたおにぎり(10個) 税込1200円

上記商品をまとめてお楽しみ!

京急あきたフェアオリジナルの可愛いグッズが当たる!

オリジナルグッズプレゼントキャンペーン

10x1000円 → 11x6000円

京急オリジナル米 あきたecoらいす

秋田県産あきたこまち「あきたecoらいす」
新米を発売!

10月10日(月)-11月6日(日)より発売

あきたecoらいす

京急グループ商品や秋田の特産品などが当たる!

秋田県産あきたこまち「あきたecoらいす」オリジナルグッズプレゼントキャンペーン

10x1000円 → 11x6000円

大好評につき今年も販売!!

秋田県産「京秋の夢」

10月10日(月)-11月6日(日)より発売

京急グループ商品や秋田の特産品などが当たる!

秋田県産「京秋の夢」オリジナルグッズプレゼントキャンペーン

10x1000円 → 11x6000円